

「入社事件」の本質を何ら明らかにせず、事なかれ主義にのつた大学当局の「話し合い」路線も真の解決にはならず、矛盾を拡大再生産しているにすぎない。

また我々は、立命館教職組に対しても抗議する。問題の本質を何ら指摘しないまま、一方的な反暴力キャンペーンにのみ終始し、学生大衆を全く無視した態度は、まさに非民主的でなくて何であるか。我々は今後、今回の事件に関して、引き続き徹底的な事実調査のもとに事件の本質究明をなし、学友会、大学当局、教職組に一連の現象として明白に現われた「立命館民主主義」の幻想性を否定的媒介物としながら、真に民主的な立命館の構築のため努力することを決意するとともに、全立命の学友諸君が団結して立ち上がられることを切に望みたい。

スローガン

- 一、学友会のサークル自治破壊糾弾
- 一、教職組アビール白紙撤回
- 一、大学当局は本質問題を自己批判せよ

戒厳令下から

庶社1Bクラス

今すべての学生は行動を共にしなければならない状態にある。民青テロルの横行、立命館を支配しているのは真にこの恐ろしい自治だ。戦争中、悪人たちの秘かな進軍を凍てつたように眼差しで圧迫した官兵と同じ目がこの全国一を誇る立命館民主主義の中に、

立命館民主主義に対する警鐘が打ち鳴らされて以来、しかしあたかも無傷であるかの様に立命館民主主義はバラ色に輝いてきた。しかし、今や新聞社に対する学友会の不当な権力的介入の中に、空しい大学のエセ「平和的解決」の中に、私達の批判の前では何をとも語る事の出来ない教職組委員長山口氏のひきつった顔の中に、その欺瞞性は顕在化した。立命館民主主義の本質は、学友会が不当にも暴力でもって新聞社を「民青化」することにあつたのか、その学友会に暖かい同情をして今回の事件を一方的にグバ棒、ヘルメットに押しつける教職組アビールにあつたのか。最早、私知らないワツと居直ったってこの事件が我々に投げ与えた責任の重さを回避することはできない。一党一派であらゆるサークルの、クラスの支配をもちろむ学友会「民青」にこの民主主義を売り渡したのは極端にも私達自身の無関心ではなかった。

今や我々は、立命館民主主義という名の学友会による戒厳令下のカゴの鳥から、大空に向けて雄しく飛翔せねばならない。私達の内なるささやかな反抗の火を真の民主主義に向けての高らかな前進の第一歩とせねばならない。

(一部略)

-10-

どした形をとって極点に達しつつあった。

代々木―五者共闘会議は、いまやはっきりと自分達の「平和的解決」という名の権力的収拾工作の失敗を知らされた。大学当局は、民青に依頼した自分達の見過しの甘さを痛切に省することになった。いわゆる良識派教授は「全共闘」という名の恐怖に故に沈黙していた。これを総合よく忘れ、いまやはっきりと学友会への批判をはじめた。大学は新聞社事件によってではなく、批判の激しさにいまだ揺れ始めたのである。右往左往する理事会・教授会において、大学中核の中にも方針を提起し、18日の考えられた大規模な衝突を防止するなど精力的に解決へ努力する部分は健在であり、のちの「平和解決派」へ連なる。ここではこれらを明らかにするために12月17日の産業社連部教授会議事録を資料として公開する。

△資料2 V 緊急教授会議事録 12/17

討論 新聞社事件

藤井 大学としてどう対応するかという点で討議されたい

後藤 グバ棒反対―圧倒的多数A但Vそのとらえ方は現実的

野々尾 40名 17/18日迄継続して討議の予定、学友会側は不利

グバ棒 野尾の問題をめぐる討議

大橋 46名 三派系に同調する者多し

鈴木(桂) 33名 学友会側不利

△以上の報告は、16日行なわれたクラス討論の状況報告とみらる。

富山 △そんなことよりVどうするかを先に考える方が大事、聞合ぬから

藤井 入社問題にどう対処するか。グバ棒について

富山 入社問題は学友会の強引さが問題。今からでは遅いが、そのでもその事を明確にすべきだ。

武藤 小堀と内藤他9名の処分AとVグバ棒側責任者の処分Aを提案

須田 野々尾 新聞社問題については、充分な見解を出す。又、暴力にいては、きびしい批判をする。

小関 賛成 入社問題を取り上げる場合、以前の所を充分に(民主A 12/14 緊急教授会での野尾発言を示す。V

富山 いま、どうして新聞社の民主的運営をとり上げるか

岡 私発言は、批判の自由があるので入社についてのやり方の

ずさを出すべきだということだ。

真田 さかのぼると、学生自治活動の批判になるのでまずい

仲村 入社申し込みをしたのは個人であるが、これをどう理解す

ばよいか

(民青と結びつけられるか)

森 事実からすれば民青ということになってしまふ

仲村 内藤らの入社申し込みが、申し込みの慣行ルールとどう異

ているか。それと申し込み者の所属が民青かどうかは、きりと

認すべき。

奥田 新聞社は三派が支持し、申し込み者は学友会が支援してい

という事実をおさえるべきだ。

野々尾 両者のそれぞれの関係は、その後の行動において関連性

あるとするより他ない

奥田 △内藤らの入社申し込みはV不自然とするか、重大な責任

あるとするかどうかではないか?

野々尾 不自然はなまぬるい。適切な表現で追求されたい。内藤